

支援学校中学部 保健体育

解答についての注意点

- 1 問題は、特別支援教育に関する大問 **1**、教科等に関する大問 **2** ～大問 **4** の各問題から構成されています。
- 2 解答用紙は、マーク式解答用紙と記述式解答用紙の2種類があります。
- 3 大問 **1** ～大問 **3** については、マーク式解答用紙に、大問 **4** については、記述式解答用紙に記入してください。
- 4 解答用紙が配付されたら、まずマーク式解答用紙に受験番号等を記入し、受験番号に対応する数字を、鉛筆で黒くぬりつぶしてください。
記述式解答用紙は、全ての用紙の上部に受験番号のみを記入してください。
- 5 大問 **1** ～大問 **3** の解答は、選択肢のうちから、**問題で指示された解答番号**の欄にある数字のうち一つを黒くぬりつぶしてください。
例えば、「解答番号は 」と表示のある問題に対して、「**3**」と解答する場合は、解答番号 の欄に並んでいる ① ② ③ ④ ⑤ の中の ③ を黒くぬりつぶしてください。
- 6 間違ってぬりつぶしたときは、消しゴムできれいに消してください。二つ以上ぬりつぶされている場合は、その解答は無効となります。
- 7 その他、係員が注意したことをよく守ってください。

指示があるまで中をあけてはいけません。

大阪府では、「障害」という言葉が、前後の文脈から人や人の状態を表す場合は、「害」の漢字をひらがな表記とし、「障がい」としています。問題中では、通知文の名称等や、文献等からの引用部分については、もとの「障害」の表記にしています。

Ⅰ 特別支援教育に関する近年の動向等について、次の（１）～（７）の問いに答えよ。

（１）次の各文は、「特別支援学校小学部・中学部学習指導要領」（平成29年4月告示 文部科学省）「第Ⅰ章 総則 第3節 教育課程の編成 3 教育課程の編成における共通的事項 （３） 指導計画の作成等に当たっての配慮事項」の記述の一部である。正しい内容のものをすべて挙げたとき、その組合せとして正しいものはどれか。Ⅰ～5から一つ選べ。解答番号は

- ア 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的、発展的な指導ができるようにすること。
- イ 視覚障害者、聴覚障害者、肢体不自由者又は病弱者である児童に対する教育を行う特別支援学校の小学部において、学年の内容を2学年まとめて示した教科及び外国語活動については、当該学年間を見通して、児童や学校、地域の実態に応じ、児童の障害の状態や特性及び心身の発達の段階等を考慮しつつ、効果的、段階的に指導するようにすること。
- ウ 小学部においては、児童の実態等を考慮し、指導の効果を高めるため、児童の障害の状態や特性及び心身の発達の段階等並びに指導内容の関連性等を踏まえつつ、合科的・関連的な指導を進めること。
- エ 中学部において、道徳科、外国語活動、特別活動及び自立活動の一部又は全部を合わせて指導を行う場合、道徳科、外国語活動、特別活動及び自立活動に示す内容を基に、生徒の知的障害の状態や経験等に応じて、具体的に指導内容を設定するものとする。また、各教科の指導を行う場合には、道徳科、外国語活動、特別活動及び自立活動と併せて合科的・関連的な指導をすることがないようにしなければならない。

- Ⅰ アーイーウ
- Ⅱ アーウーエ
- Ⅲ エ
- Ⅳ イーウーエ
- Ⅴ アーイ

(2) 次の各文は、「特別支援学校教育要領・学習指導要領解説 自立活動編（幼稚部・小学部・中学部）」（平成30年3月告示 文部科学省）「第2章 今回の改訂の要点 2 障害の捉え方と自立活動」の記述の一部である。障害の捉え方の変化やその変化と自立活動とのかかわりに関する記述の内容として正しい内容のものをすべて挙げたとき、その組合せとして正しいものはどれか。

1～5から一つ選べ。解答番号は

2

ア 「医学モデル」の考え方を踏まえた障害の捉え方については、WHOにおいてICFが採択されてから、引き続き、現在まで大切にされている。

イ ICFの特徴の一つは、環境因子等を適切に考慮する点にあるが、成長期にある幼児児童生徒の実態は様々に変化するので、それらを見極めながら環境を構成したり整えたりする必要がある。

ウ ICFでは、人間の生活機能は「精神機能」、「運動機能」、「身体構造」の三つの要素で構成されており、それらの生活機能に支障がある状態を「障害」と捉えている。

エ 自立活動の指導をする際には、生活機能の側面と障害による困難の側面とともに、それらと個人因子や環境因子等とのかかわりなども踏まえて、個々の幼児児童生徒の実態を把握し、具体的な指導内容を設定するのである。

- 1 アーイ
- 2 アーウ
- 3 アーエ
- 4 イーウ
- 5 イーエ

(3) 次の各文は、「医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律」(令和7年4月25日改正)における「第三条」の記述である。正しいものを○、誤っているものを×とした場合、組合せとして正しいものはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

3

ア 医療的ケア児及びその家族に対する支援は、医療的ケア児の日常生活及び社会生活を社会全体で支えることを旨として行われなければならない。

イ 医療的ケア児及びその家族に対する支援は、医療的ケア児が心身の健康と安全を確保された上で個別に教育を受けられるよう最大限に配慮しつつ適切に教育に係る支援が行われる等、個々の医療的ケア児の年齢、必要とする医療的ケアの種類及び生活の実態に応じて、かつ、医療、保健、福祉、教育、労働等に関する業務を行う関係機関及び民間団体相互の緊密な連携の下に、切れ目なく行われなければならない。

ウ 医療的ケア児及びその家族に対する支援は、医療的ケア児が十八歳に達し、又は高等学校等を卒業した後も適切な保健医療サービス及び福祉サービスを受けながら日常生活及び社会生活を営むことができるようにすることにも配慮して行われなければならない。

エ 医療的ケア児及びその家族に対する支援に係る施策を講ずるに当たっては、医療的ケア児及びその保護者(親権を行う者、未成年後見人その他の者で、医療的ケア児を現に監護するものをいう。第十条第二項において同じ。)の意思を最大限に尊重しなければならない。

オ 医療的ケア児及びその家族に対する支援に係る施策を講ずるに当たっては、医療的ケア児及びその家族がその居住する地域にかかわらず等しく適切な支援を受けられるようにすることを旨としなければならない。

	ア	イ	ウ	エ	オ
1	×	○	○	○	○
2	○	×	×	×	×
3	×	×	×	○	×
4	○	○	○	×	○
5	○	×	○	○	○

(4) 次の各文は、「障害のある子供の教育支援の手引～子供たち一人一人の教育的ニーズを踏まえた学びの充実に向けて～」(令和3年6月 文部科学省初等中等教育局特別支援教育課)における「第1編 障害のある子供の教育支援の基本的な考え方 Ⅰ 障害のある子供の教育に求められること(2) 就学に関する新しい支援の方向性」の記述の一部である。正しいものを○、誤っているものを×とした場合、組合せとして正しいものはどれか。Ⅰ～5から一つ選べ。
解答番号は

4

- ア インクルーシブ教育システムの構築のためには、障害のある子供と障害のない子供が、可能な限り同じ場で共に学ぶことを目指すべきである。
- イ それぞれの子供が、授業内容を理解し、学習活動に参加している実感・達成感をもちながら、充実した時間を過ごしつつ、生きる力を身に付けていけるかどうかという最も本質的な視点に立つことが重要である。
- ウ 教育的ニーズとは、子供一人一人の障害の状態や特性及び心身の発達の段階等を把握して、具体的にどのような特別な指導内容や教育上の合理的配慮を含む支援の内容が必要とされるかということを検討することで整理されるものである。
- エ 対象となる子供の教育的ニーズを整理する際、最も大切にしなければならないことは、子供の自立と社会参加を見据え、その時点でその子供に最も必要な教育を提供することである。
- オ 義務教育段階において、障害のある子供と障害のない子供が共に学ぶ取組を、年間を通じて計画的に実施することが必要である。ただし、義務教育終了後は、その限りではない。

	ア	イ	ウ	エ	オ
1	○	○	○	×	×
2	×	×	×	×	○
3	○	○	○	○	×
4	○	×	×	×	○
5	×	○	○	○	×

- (5) 次の各文は、「学校・教育委員会等向け虐待対応の手引き」（令和2年6月改訂 文部科学省）における「1. 通告までの流れ（4）子供や保護者から聞き取りをする場合」の記述の一部である。正しい内容のものをすべて挙げたとき、その組合せとして正しいものはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

- ア 外傷（打撲傷、あざ（内出血）、骨折、刺傷、やけどなど様々）がある場合、担任や養護教諭などによって子供から聞き取りを行うことも考えられます。その際は子供が答えやすいように、「はい」か「いいえ」で答えられるような形式で尋ねることが適切です。
- イ 子供は自分の置かれている状況が客観視できず「虐待されている」とは認識していないこと、心身の安全・安心が確保されておらず虐待を受ける危険性がある状況では「虐待されている」とは言い出せないこと、どんなに辛くても自分から保護者を悪く言うことができないでいること、保護者から見捨てられる不安をもっていること、一度虐待を受けていることを認めても後に撤回することなどが想定されるので、幼児児童生徒の言葉だけで判断しないように留意する必要があります。
- ウ 知的障害や発達障害のある子供については、自分のされていることが虐待と認識できない場合があるため、子供の障害の状態及び発達の段階や特性等を考慮し、周囲がより丁寧かつ積極的に介入する必要があります。
- エ 虐待に関する本人からの詳しい聞き取りは児童相談所職員や市町村（虐待対応担当課）職員などの専門の部署が対応する方が望ましく、学校関係者はあまり踏み込んだ聴取や度重なる質問はしないほうがよいと考えられます。
- オ 幼児児童生徒の負った外傷（打撲傷、あざ（内出血）、骨折、刺傷、やけどなど様々）の原因が不明確な場合は、保護者に対して、「お子さんは〇〇〇と言っています」と確認をして、状況を把握するようにしてください。

- 1 アーイーオ
- 2 イーウーエ
- 3 アーウーエ
- 4 イーオ
- 5 アーウーエーオ

(6) 次の表は、「学校教育法施行令」(令和5年4月1日改正)における「第二十二条の三」法第七十五条の政令で定める視覚障害者、聴覚障害者、知的障害者、肢体不自由者又は病弱者の障害の程度に関する表である。空欄ア～オに当てはまる語句の組合せとして、正しいものはどれか。
1～5から一つ選べ。解答番号は

区分	障害の程度
視覚障害者	両眼の視力がおおむね ア 未満のもの又は視力以外の視機能障害が高度のもののうち、拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度のもの
聴覚障害者	両耳の聴力レベルがおおむね イ デシベル以上のものうち、補聴器等の使用によっても通常の話声を解することが不可能又は著しく困難な程度のもの
知的障害者	一 知的発達の遅滞があり、他人との意思疎通が困難で日常生活を営むのに ウ 援助を必要とする程度のもの 二 知的発達の遅滞の程度が前号に掲げる程度に達しないもののうち、社会生活への適応が著しく困難なもの
肢体不自由者	一 肢体不自由の状態が補装具の使用によっても エ 等日常生活における基本的な動作が不可能又は困難な程度のもの 二 肢体不自由の状態が前号に掲げる程度に達しないもののうち、常時の医学的観察指導を必要とする程度のもの
病弱者	一 慢性の呼吸器疾患、腎臓疾患及び神経疾患、悪性新生物その他の疾患の状態が継続して医療又は オ を必要とする程度のもの 二 身体虚弱の状態が継続して オ を必要とする程度のもの

備考

- 一 視力の測定は、万国式試視力表によるものとし、屈折異常があるものについては、矯正視力によつて測定する。
- 二 聴力の測定は、日本産業規格によるオーディオメータによる。

	ア	イ	ウ	エ	オ
1	〇・〇三	二五	常に	歩行、筆記	運動制限
2	〇・三	六〇	頻繁に	歩行、筆記	生活規制
3	〇・〇三	六〇	常に	食事、排泄	運動制限
4	〇・三	六〇	頻繁に	歩行、筆記	運動制限
5	〇・三	二五	頻繁に	食事、排泄	生活規制

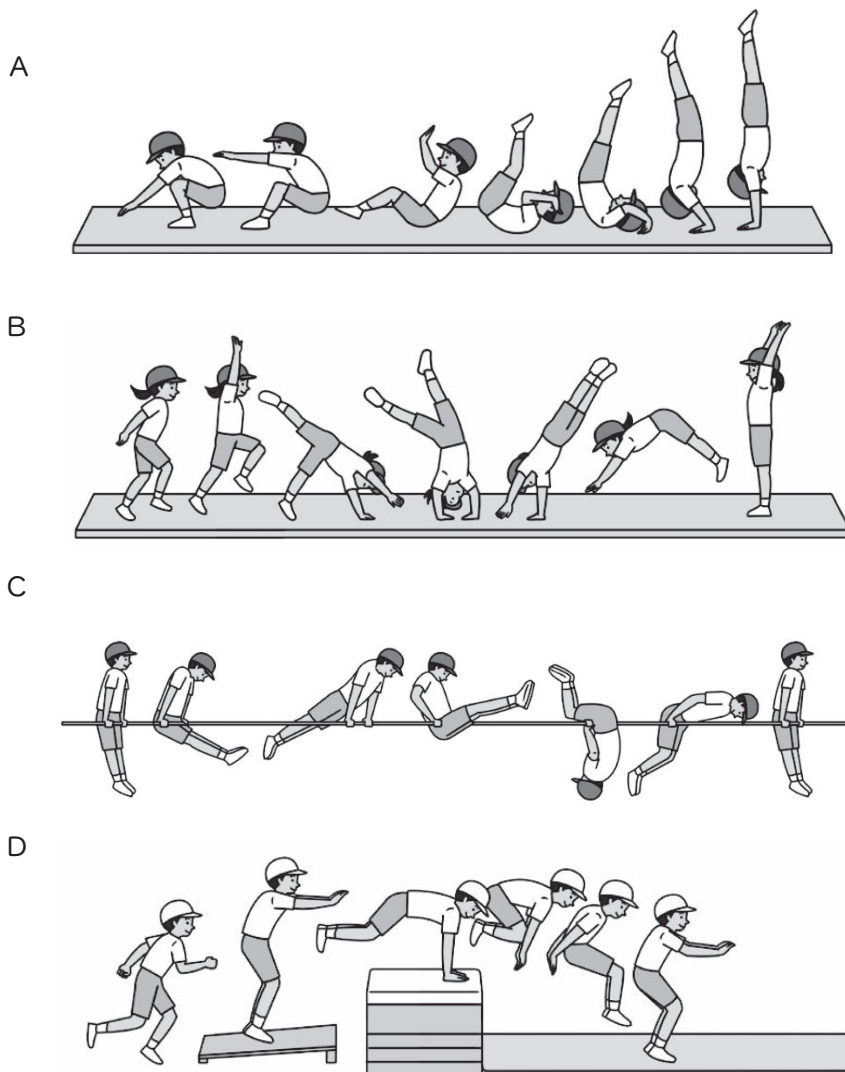
(7) 次の各文は、「強度行動障害を有する者の地域支援体制に関する検討会 報告書」(令和5年3月30日 厚生労働省)における「3. 強度行動障害を有する者の地域における支援体制の在り方 (1) 支援人材のさらなる専門性の向上」の記述の一部である。正しいものを○、誤っているものを×とした場合、組合せとして正しいものはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は 7

- ア 強度行動障害を有する者への支援においては、障害特性を正しく理解し、機能的なアセスメントを行う等の根拠のある標準的な支援を行うことを基本として、行動上の課題を引き起こさないための予防的な観点も含めて人材育成を進めていくことが重要である。
- イ 強度行動障害を有する者へ適切な支援を継続的に行っていく上では、統一した支援を一貫して行う必要があるため、特定の職員で支援を行うことが重要である。
- ウ 強度行動障害を有する者の家族は、家庭での対応等において心身ともに疲弊していることが多い。家族支援を進めることも必要であり、家庭環境のアセスメントも行い、家族も含めて、困り感やニーズの把握を行い、支援にあたることが重要である。
- エ 強度行動障害を有する者への支援においては、統一した支援を一貫して行うことが重要であるが、それを支えるのはアセスメントであり、客観的なアセスメントを行い、それに基づいて支援計画を立て、支援を実行し、そして支援を評価して次につなげることが重要である。
- オ 強度行動障害を有する者への支援において、不適応行動が見られた際は、その行動が適切でないことを本人が認識できるよう促すため、まずは行動自体を止め、抑圧的な対応をすることが重要である。

	ア	イ	ウ	エ	オ
1	×	×	○	○	○
2	○	×	○	×	○
3	×	○	○	×	×
4	○	×	○	○	×
5	○	○	×	○	○

2 教科「保健体育」体育分野に関連する（１）～（２）の問いに答えよ。

（１）次のＡ～Ｄの図は、器械運動における技の図である。それぞれの技の名称の正しい組合せはどれか。１～５から一つ選べ。解答番号は 8



	A	B	C	D
1	倒立後転	ロングアート	後方支持回転	屈身跳び
2	倒立後転	側方倒立回転	逆上がり	かかえ込み跳び
3	後転倒立	側方倒立回転	後方支持回転	屈身跳び
4	後転倒立	ロングアート	逆上がり	屈身跳び
5	後転倒立	ロングアート	後方支持回転	かかえ込み跳び

(2) 学校体育実技指導資料 第1集「剣道指導の手引」参考資料(平成22年3月 文部科学省)に示されている基本動作について、次のA～Dのうち、正しいものを○、誤っているものを×とした場合、正しい組合せはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は 9

- A 歩み足とは、前後左右に速く移動する場合の足さばきで、遠い間合で打突するときや打ち返しを受けるときに用いる。
- B 送り足とは、練習や試合での一足一刀の間合で、最もよく使われる剣道の基本的な足さばきである。前進、後退、左右、斜めへ素早く移動する場合に用いる。
- C 開き足とは、相手の攻撃に対して、身体をさばきながら打突したり防いだりするときに用いる。
- D 継ぎ足とは、相手との距離が遠くて、打突がとどかないような時に用いる。この足さばきは前後方向だけである。

	A	B	C	D
1	×	○	○	×
2	×	×	○	○
3	○	×	×	×
4	○	○	×	○
5	○	×	○	×

3 教科「保健体育」保健分野に関連する（１）～（６）の問いに答えよ。

（１）次の各文は、「熱中症を予防しようー知って防ごう熱中症ー」（独立行政法人日本スポーツ振興センター 学校災害防止調査研究委員会）に示されている内容をまとめたものである。空欄A～Dに入る語句の正しい組合せはどれか。１～５から一つ選べ。解答番号は 10

- 熱中症は、気温が高いと危険が高まるが、それほど気温が高くなくても湿度が高い場合は発生する。また、梅雨明けなどに急に暑くなり、体が暑さに慣れていないときに多く発生する。暑さに慣れるまでの（ A ）くらいは、短時間で軽めの運動から始め、徐々に慣らしていくことが必要である。
- 暑い時期の運動はなるべく涼しい時間帯にするようにし、休憩を頻繁に入れ、こまめに水分を補給する。（ B ）等により環境温度の測定を行い、「熱中症予防運動指針」を参考に運動を行う。
- 汗には塩分も含まれているので水分補給は（ C ）％程度の食塩水がよい。
- 激しい運動では休憩は（ D ）分に１回はとることが望ましい。

	A	B	C	D
1	1週間	WBGT	0.1～0.2	30
2	1週間	WGBT	1 ～ 2	50
3	1週間	WBGT	1 ～ 2	30
4	1か月	WBGT	1 ～ 2	30
5	1か月	WGBT	0.1～0.2	50

(2) 警察庁ホームページ（令和7年5月時点）に掲載されている「自転車は車のなかま～自転車はルールを守って安全運転～」に示されている内容について、次のA～Eのうち、正しいものを○、誤っているものを×とした場合、正しい組合せはどれか。1～5から一つ選べ。

解答番号は

11

- A 令和6年中の自転車関連事故（自転車が第1当事者又は第2当事者となった交通事故をいう。）の件数は、10年前に比べ増加している。
- B 自転車関連の死亡・重傷事故の相手当事者は、自動車が最も多くなっている。
- C 自転車と自動車の事故のうち、右左折時による事故が最も多く発生している。
- D 自転車乗用中の死者の人身損傷主部位（致命傷の部位）は、令和2年から令和6年の合計では胸部が最も多くなっている。
- E 自転車で歩道を通行できる場合は、車道寄りの部分を徐行しなければならない、歩行者の通行を妨げる場合は一時停止しなければならない。

	A	B	C	D	E
1	○	×	×	○	×
2	×	○	×	×	○
3	○	○	○	×	×
4	○	×	×	○	○
5	×	×	○	×	○

- (3) 「健康づくりのための睡眠ガイド2023」(令和6年2月 厚生労働省 健康づくりのための睡眠指針の改訂に関する検討会) に示されている内容について、次のA～Dのうち、正しいものを○、誤っているものを×とした場合、正しい組合せはどれか。1～5から一つ選べ。

解答番号は

12

- A 身体が必要とする睡眠時間以上に眠りをとろうと床の上で長く過ごすとな眠りの質が低下する。
B 平均睡眠時間は季節によって変動し、冬季に比べて夏季の方が長くなるとされている。
C 夜更かしなどの生活習慣に関連する睡眠不足を防止する観点から、中学・高校生は7時間の睡眠時間の確保を推奨している。
D 中学・高校生は1日当たり60分以上からだを動かし、スクリーンタイム(テレビ視聴やゲーム・スマホ利用など)は2時間以下にすることが推奨されている。

	A	B	C	D
1	○	×	○	×
2	○	○	×	×
3	○	×	×	○
4	×	○	○	○
5	×	×	○	○

(4) 次の各文は、「がん情報サービス」(令和7年5月時点 国立研究開発法人 国立がん研究センター)に掲載されている内容をまとめたものである。空欄A～Eに入る語句の正しい組合せはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

13

- 日本人が一生のうちにがんと診断される確率(2020年データに基づく)は、男性で(A)%、女性で(B)%である。
- 部位別のがん罹患数(2020年)は、男性で(C)、女性で(D)が最も多い。
- 日本人のがんの予防にとって重要な「たばこ」「お酒」「食生活」「身体活動」「体重」の5つの生活習慣に関わる要因に「(E)」を加えた6つの要因を取りあげ、「日本人のためのがん予防法(5+1)」を定めた。

	A	B	C	D	E
1	62.1	48.9	肺	大腸	感染
2	48.9	62.1	前立腺	乳房	性別
3	48.9	62.1	肺	大腸	感染
4	62.1	48.9	前立腺	大腸	性別
5	62.1	48.9	前立腺	乳房	感染

(5) 「健康日本21アクション支援システム～健康づくりサポートネット～」(令和7年5月時点 厚生労働省)に掲載されている平均寿命と健康寿命の内容について、次のA～Eのうち、誤っているものはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

- A 平均寿命とは「0歳における平均余命」のことをいう。
- B 令和4年における我が国の平均寿命は男性81.05歳、女性87.09歳である。
- C 健康寿命とは、「健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間」のことをいう。
- D 平成13年から令和4年まで平均寿命と健康寿命は男女ともに延び続けている。
- E 平均寿命と健康寿命の差は日常生活に制限のある「不健康な期間」を意味するが、令和4年では男性より女性の方が差は大きい。

- 1 A
- 2 B
- 3 C
- 4 D
- 5 E

(6)「健康日本21（第三次）の概要」（令和5年10月 厚生労働省）の内容について、次のA～Eのうち、正しいものを○、誤っているものを×とした場合、正しい組合せはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

15

- A 健康日本21（第三次）のビジョンとして、全ての国民が健やかで心豊かに生活できる持続可能な社会の実現を掲げている。
- B これまで性差に着目した取組が少なかったが、女性の健康について新規に項目を立て、子宮頸がん検診受診率を新たに目標に設定している。
- C 健康に関心の薄い人を含め、本人が無理なく健康な行動をとれるような環境づくりを推進している。
- D 野菜摂取量の増加を目標とし、1日あたりの野菜摂取量の平均値として350gを目標値に設定している。
- E 日常生活における歩数の増加を目標とし、1日あたりの歩数の平均値（年齢調整値）として7,100歩を目標値に設定している。

	A	B	C	D	E
1	○	×	○	○	○
2	×	○	○	×	○
3	○	×	×	○	×
4	×	×	×	×	○
5	○	○	○	×	×

4 次の(1)～(6)の問いに答えよ。

(1) 次の各文は、体育・スポーツに関する用語の説明である。それぞれの名称をカタカナで答えよ。

- A バレーボール6人制競技において、サーブ権を持たないチームがラリーを制した場合に、1点とサーブ権を得て、そのチームの競技者が時計回りに一つずつポジションを移動すること。
- B ソフトボールの試合において、規定回数で勝負が決まらず延長戦になった場合、延長戦最初の回の表の攻撃は、前回最後に打撃を完了した選手を二塁走者とし、無死二塁の状況を設定して、打者は前回から引き続く打順の者が打席に入る。その裏の攻撃も同様に継続し、勝負が決するまでこれを続けていく試合方式のこと。
- C バスケットボールにおいて、両チームの1人あるいはそれ以上のプレーヤーがボールに片手または両手をしっかりとかけて、どちらのプレーヤーも乱暴にしなければそのボールのコントロールを得られない状態のこと。
- D ラグビーにおいて、プレーヤーが前方にボールを投げる、または、パスする反則の名称。
- E 創作ダンスにおける、集団の動きにおいて、一斉に同じ動きをする動きの名称。

(2) 次の各文は、保健に関する用語の説明である。それぞれの名称をカタカナで答えよ。

- A あらかじめ、障がいの有無、年齢、性別、人種等にかかわらず、多様な人々が利用しやすいよう都市や生活環境をデザインする考え方。
- B 自然災害による被害の軽減や防災対策に使用する目的で、被災想定区域や避難場所・避難経路などの防災関係施設の位置などを表示した地図。
- C 運動器の障がいのために立ったり歩いたりするための身体能力（移動機能）が低下した状態のこと。運動器症候群とも呼ばれる。
- D 患者・家族が病状や治療について十分に理解し、また、医療職も患者・家族の意向や様々な状況や説明内容をどのように受け止めたか、どのような医療を選択するか、患者・家族、医療職、ソーシャルワーカーやケアマネジャーなど関係者と互いに情報共有し、皆で合意するプロセスのこと。

(3) 心停止の直後にみられる、しゃくりあげるようなゆっくりとした不規則な呼吸のことを何というか答えよ。

(4) 次の各文は、食中毒を引き起こす原因物質に関する説明文である。それぞれの原因物質を語群ア～ケから選び、記号で答えよ。

A 食べ物とともに人の腸に達し、腸で毒素を作り、食中毒を引き起こす。100℃で1時間の加熱にも耐える熱に強い芽胞を作るため、加熱調理の際に死滅しない。さらに12～50℃で増殖するため、加熱調理した後、室温で冷まして放置し、再び加熱した食品が原因となりやすい。

B 毒力の強いペロ毒素を出し、溶血性尿毒症症候群等の合併症を引き起こす。この毒素が身体の中で様々な障害を起こすことによって、全身性の重篤な症状を出すとされている。

C サバ、アジなどの魚介類に寄生しており、長さ2～3cmくらいの白色の少し太い糸のように見える。寄生している生鮮魚介類を生（不十分な冷凍又は加熱のものを含む。）で食べることで、胃壁や腸壁に刺入して食中毒を引き起こす。

<語群>

ア：カンピロバクター

イ：腸管出血性大腸菌

ウ：黄色ブドウ球菌

エ：ボツリヌス菌

オ：ノロウイルス

カ：クドア

キ：サルモネラ属菌

ク：アニサキス幼虫

ケ：ウェルシュ菌

(5) 2025年に東京で開催される夏季デフリンピック競技大会は、日本では初めての開催であり、また1924年にパリで第1回デフリンピックが開催されてから、100周年の記念となる大会になる。このデフリンピックとはどのような人が参加する大会か説明せよ。

(6) 令和7年6月4日に厚生労働省が我が国における令和6年の合計特殊出生率を発表した。合計特殊出生率について説明するとともに、我が国における令和6年の合計特殊出生率の数値と人口置換水準の数値とを比較し、今後人口がどのように変化することが予測されるかについて述べよ。

